

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

企画名
二畳の茶室 2015
実施日
平成 27 年 11 月 7 日 (土) ~ 平成 27 年 11 月 8 日 (日)
実施場所
中央図書館周辺
企画代表者の氏名, 所属
氏名： 宮田 真 所属：工学研究科建築学専攻建築設計学研究室
構成員の氏名
佐藤 秋成、CHENG RUOCHUAN、高橋 啓悟、關 和也、成富 邑斗、小川 修平、宮田 真、 細川 敬大、内田 和音、黒木 香那、長廻 拓史、横山 真、甘中 大貴、山根 大地、原 康輔
指導的立場の教員氏名
岡河 貢
企画の目的及び内容
企画の目的としては建築の最小空間である二畳の茶室を実際に作り、その建築空間を体験することとします。また学祭で実際にお茶会を開くことにより、多くの人に体験して貰い、建築を開くことを目標にします。内容は、普段各自が勉強している設計・意匠・環境・構造についての実験の場として、二畳の茶室を学生達で設計・施工して、大学祭の期間中に設置しました。
来場者数
参加者 100 人 見学者 100 人
主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）
活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）
まず研究室で 1/10 の模型を作り、様々なパターンを試し、より良い形を決定していきま した。 今年の取り組みとして、テント・膜の専門企業に協力していただき、テント膜、ETFE という 工業素材を提供してもらいました。そのためその素材の使い方等も併せて検討していきま した。 また、茶道部の方とも事前に話し合いを重ね、当日の計画を決めていきました。 広報活動としては、ポスターを制作し、様々な場所に配布し、SNS なども周知していきま した。 お茶会当日は多くの方に、お茶を飲んでいただくとともに、建築を見ていただきご意見をいた だくことができました。今年はテントを用意したので、それによって天候の変化にも対応す ることができました。

(裏面に続く)

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

アンケートは実施せず。

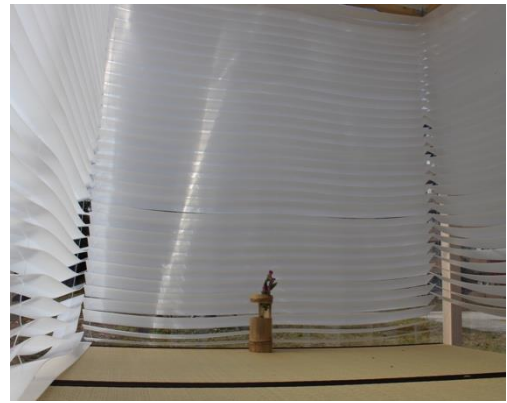
成果・課題

今回は広島大学に広がる“環境”をテーマに校内を吹き抜ける風や日射、風景を建築にどのようにして取り込むかを研究して作りました。実際に出来上がったものは、風により側面のルーバーが動いたり、景色を見ることはできるが、落ち着くことのできる空間ができました。学祭当日には、雨が降る瞬間もありましたが、うまく屋根を重ねることができ、内部には水の漏らない設計・施工ができました。友人たちと作り上げることにより達成感をとても感じることができました。

また、お茶会当日はあまり天気に恵まれませんでした。多くの一般の方にも来場していただき、その空間を体験してもらうことができました。

課題としては、せっかく来ていただいても、二畳という狭い空間では体験できる人数が限られてしまうため長時間待たせてしまうことになり、場の作り方をもう少し考える必要があると感じました。

実施風景 (写真)



【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。
E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学部学生支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)